

エコアクション21 (EA21)

# 環境経営レポート

2022年度  
(2022年2月～2023年1月)



千葉工場



本社新社屋 (2022年10月完成)



本社新社屋の玄関

作成 : 2023年 4月 29日

改訂 : 2023年 7月 14日



株式会社 小名木川ギヤー



環境省  
エコアクション21

認証・登録番号 0004209

承認	作成
代表取締役 社長	環境事務局 課長

# I. 組織の概要

## 会社概要

### 1. 事業所名及び代表者

株式会社 小名木川ギヤー  
代表取締役社長 岩崎 厚三

### 2. 所在地

本 社； 〒135-0003 東京都江東区猿江1丁目2番7号  
TEL 03-3631-0037(代)  
FAX 03-3635-0868  
E-mail ong@green.ocn.ne.jp

千葉工場； 〒299-4111 千葉県茂原市萱場1525番地  
TEL 0475-34-4536(代)  
FAX 0475-34-4568  
E-mail ongchb@peach.ocn.ne.jp

大網分工場； 〒299-3251 千葉県大網白里市大網1803番地  
TEL 0475-73-1816  
FAX 0475-71-2063

### 3. EA21責任者・連絡先

環境管理責任者 担当課長 岩崎 洋明  
環境事務局 担当課長 岩崎 洋明  
TEL 0475-34-4536(代)  
FAX 0475-34-4568

E-mail h\_iwasaki@onagigawa.co.jp  
E-mail h\_iwasaki@onagigawa.co.jp

### 4. 事業の規模

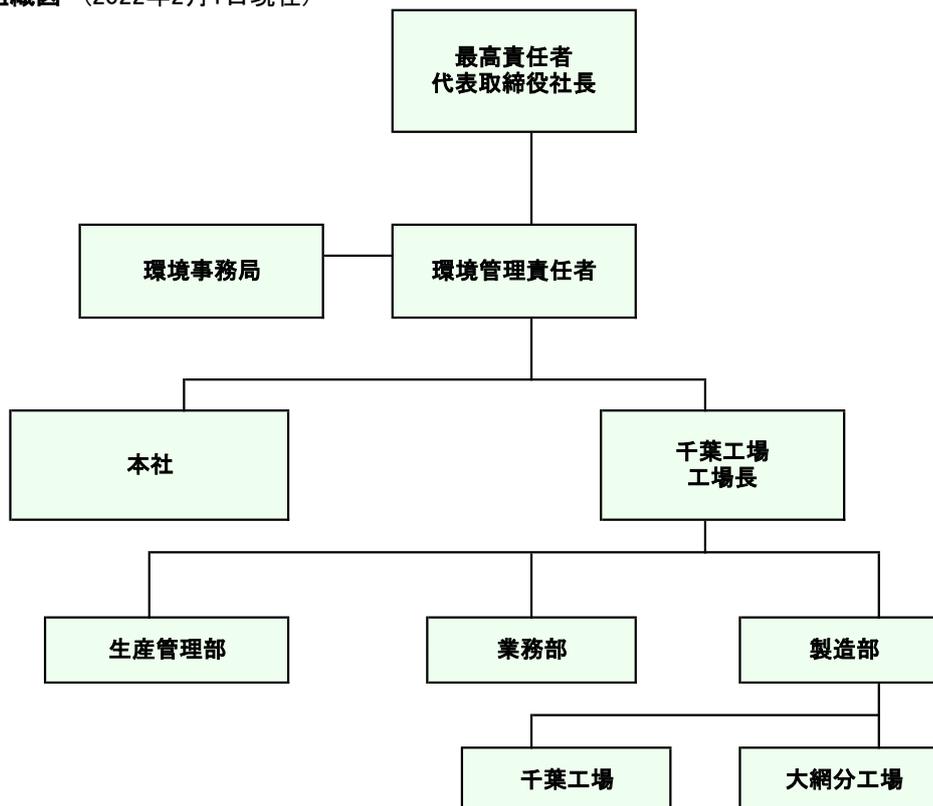
従業員数 81名 (2023年 1月)  
売上高 159百万円 2022年度(2022年2月～2023年1月)  
敷地面積 本社 142㎡  
千葉工場 6,982㎡  
大網分工場 1,285㎡  
床面積 本社 115㎡  
千葉工場 3,842㎡  
大網分工場 1,285㎡

### 5. 環境負荷の実績

項目	単 位	2021年度	2022年度
売上高	百万円	1,568	1,591
生産数量	トン	2,650	2,703
従業員数	人	73	81
電気使用量(全社)	kWh	1,482,500	1,498,720
灯油使用量(工場)	ℓ	19,356	19,964
軽油使用量(工場)	ℓ	31,647	30,920
ガソリン使用量(全社)	ℓ	16,105	17,357
LPG使用量(工場)	kg	728	866
CO <sub>2</sub> 排出量(全社)	t-CO <sub>2</sub>	824	864
一般廃棄物排出量(工場)	kg	20,006	19,005
産業廃棄物排出量(工場)	トン	167	150
水使用量	㎡	1,016	970

## 6. 実施体制

(1) 組織図 (2022年2月1日現在)



(2) 責任と権限

社長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境管理責任者の任命</li> <li>2. 環境方針の制定</li> <li>3. 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備</li> <li>4. 環境経営システムの定期的見直しの実施</li> <li>5. 環境レポートの発行責任者</li> <li>6. 課題とチャンスの明確化</li> </ol>
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置</li> <li>2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告</li> <li>3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者</li> <li>4. 環境レポートの作成責任者</li> </ol>
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営システムの手続き等を遂行</li> <li>2. 契約業務等事務処理、環境活動からのデータ収集</li> </ol>
部門長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部門の環境活動の責任者</li> <li>2. 自部門の実施状況を日常的に点検し、改善を指導する</li> </ol>
工場長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工場における現場指揮及び実績管理</li> <li>2. ライン運転、製造、保管及びEA21活動現場責任者</li> </ol>
従業員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自部門の目標を実行し、改善に努める</li> </ol>

## II, 対象範囲

1. 対象事業所: 本社, 千葉工場, 大網分工場
2. 事業活動: 歯車の製造

## Ⅲ、環境経営方針

### 基本理念

### 我らの地球を守ろう！

当社は、地球環境保全が全人類にとって最大重要課題であることを深く認識し、事業活動のすべての面で環境に配慮した行動に努め、同時に地域社会との調和を保ちながら事業を推進・発展させていくことを目指します。

### 基本方針

1. 歯車製造の事業活動を通じて環境経営システムを構築し、課題とチャンスをつまみ、人と地球に優しい事業活動の推進と環境負荷の低減に継続的に努めます。
2. 環境に関する法規制を遵守し、環境汚染の防止と環境保全に努めます。
3. 当社が行なう環境活動は、以下を重点的に行っていきます。
  - 1) 工場、事務所内での省資源・省エネルギーの取り組み。
  - 2) 生産活動にともなう加工不良、廃棄物、排出物の削減。
  - 3) 節水、切削油・灯油等の管理強化。
  - 4) 化学物質削減、若手社員の技術力向上及び技術伝承。
4. 本方針に基づき環境目標を定め、環境活動計画に従って自主的かつ積極的な活動を展開するとともに、必要があれば環境方針の見直しを実施します。
5. 本方針を従業員および協力企業に周知するとともに、当社の活動を示した活動レポートを作成し、社外に公表します。

制定 2010年 1月 27日

改定 2022年 2月 1日

株式会社 小名木川ギヤー

代表取締役 岩崎 厚三

## IV. 環境経営目標

### 1.2021年度～2022年度中期2カ年計画（当初計画）（2023. 2.20制定）

項目	単位	2021年度 (実績値)	2022年度 (目標値)	2022年度 (実績値)
電気使用量(本社)	kWh/年	7,205	7,205	6,137
電気使用量(千葉工場)	kWh/年	1,298,382	1,395,220	1,135,260
	kWh/生産量	490	451	420
電気使用量(大網分工場)	kWh/年	176,913	203,450	81,444
	kWh/生産量	67	71	30
電気使用量(全体)		1,482,500	1,605,875	1,222,841
	kWh/生産量	559	459	452
灯油使用量	L/年	19,356	17,420	19,963
	L/生産量	7.30	6.11	7.39
軽油使用量	L/年	31,647	37,976	30,919
	L/生産量	11.94	13.32	11.44
ガソリン使用量	L/年	16,105	17,715	17,386
	L/生産量	6.08	6.21	6.43
LPG使用量	L/年	728	691	866
	L/生産量	0.27	0.24	0.32
温室効果ガス排出量 (注)	kg-CO2/年	835,573	905,895	720,516
	kg-CO2/生産量	315	318	267
水使用量 (千葉・大網合計)	m <sup>3</sup> /年	1,016	914	970
	m <sup>3</sup> /生産量	0.383	0.321	0.359
一廃排出量	kg/年	20,006	19,005	19,005
	kg/生産量	7.55	6.67	7.03
産廃排出量	t/年	167	150	150
	t/生産量	0.063	0.053	1.020
生産量	t/年	2,650	2,851	2,703
化学薬品管理	%	100%	100%	100%

注：電力の排出係数は本社は0.731kg-CO<sub>2</sub>/kWh(エバグリーンレタイリング)、工場は0.440kg-CO<sub>2</sub>/kWh(エバグリーンマーケティング)、4月から、電力会社に変更になり、それにより、電力の排出係数も変更になります。本社は、東京電力エナジーパートナーで0.441-kWh/co<sub>2</sub>、千葉工場は東京電力エナジーパートナーで0.435-kwh/co<sub>2</sub>、大網分工場はENEOS電気で0.48-kwh/co<sub>2</sub>。

#### 中期計画の主要なポイント

- ① 生産量は徐々に増加の傾向です。2022年度は2021年度の14%増加とし、以降は20%の増加とします。
- ② 本社の電気は2022年度は2021年度の同等とし、以降は2023年度の5%削減を維持します。  
工場の電気関係は2022年度は2021年度の8%の増加とし、以降は10%の増加とします。
- ③ 2022年度の灯油は2021年度の10%減少、以降は2021年度の10%削減とします。
- ④ 2022年度の軽油は2021年度の20%の増加とし、その後は同量を維持します。
- ⑤ 2022年度のガソリンは2021年度の10%増加とし、以降も10%増加とします。
- ⑥ 2022年度のLPGは2021年度の5%削減し、以降は5%削減とします。
- ⑦ 2022年度の水は2021年度の10%減として、原単位の減少を目指します。
- ⑧ 2022年度の一般廃棄物は2021年度の5%減とし、原単位の削減を目指します。
- ⑨ 2022年度の産廃は2021年度は数値の10%減とし、原単位の削減を目指します。
- ⑩ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価します。

## V. 環境経営計画の主要な取組内容

### 1. 主要な環境経営計画の内容

No.	項目	活動内容
1	電力使用量	①屋休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)
		④エア配管系のエア漏れ点検修理
2	灯油使用量	①屋休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		③洗浄油再利用の活性化
3	ガソリン使用量	①フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)
		②社有車の計画的運行
		③省エネ社有車の導入
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)
		②エコドライブの遵守
5	LPG使用量	①ガスストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		②手洗い等のお湯使用時の節約
6	二酸化炭素排出量	①節電活動
		②エコドライブの遵守
		③灯油、LPGの適正使用
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更
		②コピーの縮減、裏紙利用促進
		③分別励行による可燃物縮減
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油・のリサイクルの促進
		②廃棄物の分別徹底
		③廃棄物発生源対策立案と実施
		④破損パレット返却励行
9	緊急事態対応訓練	2020年度 初期消火訓練
		2021年度 防火・防災訓練
		2022年度 地震発生対応訓練
10	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行礼の取り付け
		②朝礼等にて啓蒙活動
11	調達品のグリーン購買	①注文時にグリーン用品を指定
		②納入品のグリーンマーク確認
12	アルコールチェックシート	運転時に必ずチェックをする。チェックリストに記入する。



## VI. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境活動計画

### 【1】2022年度環境活動の実績

評価 ◎:110%以上達成、○:100%~109%達成、△:97%~99%達成、×:96%以下

項目	単位	目標値	実績値	達成率	評価	コメント
電気使用量(本社)	kWh/年	7,206	7,159	99%	△	節電を徹底した。
電気使用量 (千葉工場)	kWh/年	1,395,220	1,314,948	106.10%	○	工場内のレイアウトの変更により、加工量の増加などがあり、使用量が増加した。
	kWh/生産量	489.38	486.42			
電気使用量 (大網分工場)	kWh/年	203,450	176,613	115%	◎	機械の千葉工場への移管により、加工数量の減少があり、使用量が減少した。
	kWh/生産量	71.36	65.33			
電気使用量 (全社合計)	kWh/年	1,605,876	1,498,720	107%	○	生産量増加に伴い電気使用量は予想より減少した。必要のない照明を減少させた効果があった。
	kWh/生産量	563.27	554.40			
灯油使用量	L/年	23,588	19,964	118%	◎	工場内のレイアウトの変更により、暖房器具の配置などの移動により、無駄のないようになった。
	L/生産量	8.27	7.39			
軽油使用量	L/年	37,428	30,920	121%	◎	納入数の増加により使用量も増加を見込んでいたが、今年度の数値を見て必要量が減少してが表れた。
	L/生産量	13.13	11.44			
ガソリン使用量	L/年	18,641	17,357	107%	○	コロナのときに比べ、打ち合わせなどの回数も増え、得意先などに行く回数も増えたが、フォークリフトの使用量が減少した。
	L/生産量	6.54	6.42			
LPG使用量	kg/年	691	866	80%	×	暖房器具の使用量、及び、手洗いの回数の増加などで増加したようです。
	kg/生産量	0.40	0.32			
温室効果ガス排出量(注)	Kg-CO2/年	1,263,919	861,715	147%	◎	生産数量の増加でエネルギー使用量が増加したが、電気量の排出係数の減少で、目標を下回った。
	kg-CO2/生産量	443.32	318.76			
水使用量	m <sup>3</sup> /年	914	957	96%	×	手洗い等の回数が増え、水道の量のなどの増加が見られた。
	L/生産量	0.32	0.35			
一廃排出量	kg/年	19,005	19,503	97%	△	予想より増加は見られたが、以前に比べて節約する形が見られていた。
	kg/生産量	6.67	7.21			
産廃排出量	t/年	150	150	100%	○	産廃の分別徹底で目標を達成した。
	t/生産量	0.053	0.055			
生産量	t/年	2,851	2,703	105%	○	コロナ禍からの脱却で受注が増した。
化学薬品管理	%	1,200	1,800	150%	○	PRTR物質の購入量を把握した。
グリーン購入	%	100	100	100%	○	事務用品を中心に環境配慮製品を購入した。

注：電力の排出係数は計画では0.731kg-CO<sub>2</sub>/kWh(エバグリーンレタイリング)、工場は0.440kg-CO<sub>2</sub>/kWh(エバグリーンマーケティング)、夫々、令和3年1月7日政府公表の令和元年度算定用係数を用いていました。

しかし、電力会社からの単価変更があり、急遽東京電力エナジーパートナー(株)とENEOS電気にすべて変更したので2022年度実績はR4年度調整後の排出係数は、本社は0.441kg-CO<sub>2</sub>、千葉工場は0.435kg-CO<sub>2</sub>と大網分工場0.48kg-CO<sub>2</sub>を使用しました。

### 【2022年度環境経営目標達成状況】

- ① 生産量は、昨年の減少をカバーをするように増加の傾向が表れて目標を達成しました。
- ② 電気使用量は、増産の影響もあり目標に対しては未達成した。
- ③ 灯油、軽油、ガソリン、LPGは使用量の低下を維持して目標を達成しました。
- ④ CO2排出量は電気使用量、軽油使用量の削減により目標を達成しました。
- ⑤ 水は、レイアウト変更等で未達成となりました。
- ⑥ 一廃はレイアウトの変更等で未目標でした。一方、産廃は分別の徹底で目標を達成しました。
- ⑦ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価しました。

### 【2】2022年度主要な環境経営計画の結果

No.	項目	活動内容	評価
1	電力使用量	① 昼休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)	○
		② エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)	
		③ 電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)	
		④ エア配管系のエア漏れ点検修理	
2	灯油使用量	① 昼休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)	○
		② 灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)	
		③ 洗浄油再利用の活性化	
3	ガソリン使用量	① フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)	○
		② 社有車の計画的運行	
		③ 省エネ社有車の導入	
4	軽油使用量	① 輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)	○
		② エコドライブの遵守	
5	LPG使用量	① ガスストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)	○
		② 手洗い等のお湯使用時の節約	
6	二酸化炭素排出量	① 節電活動	○
		② エコドライブの遵守	
		③ 灯油、LPGの適正使用	
7	一般廃棄物排出量	① 梱包緩衝材をリユース材へ変更	×
		② コピーの縮減、裏紙利用促進	
		③ 分別励行による可燃物縮減	
9	緊急事態対応訓練	2020年度 初期消火訓練	○
		2021年度 防火・防災訓練	
		2022年度 地震発生対応訓練	
8	産業廃棄物排出量	① 金属くず・廃油・段ボールのリサイクル	○
		② 廃棄物の分別徹底	
		③ 廃棄物発生源対策立案と実施	
		④ 破損パレット返却励行	
9	水道水使用量	① 蛇口付近に節水励行札の取り付け	○
		② 朝礼等にて啓蒙活動	
10	調達品のグリーン 購買	① 注文時にグリーン用品を指定	○
		② 納入品のグリーンマーク確認	

評価: ○大変良く実施した。○良く実施した。△まだ改善の余地がある。×活動に不足がある。

### 【環境経営計画の達成度】

- ① 2022年度は工場内レイアウト変更等で増加しました。目下、外注からの納品を工夫して減少するなどの取り組みを検討しているので今後削減が期待されます。
- ② 2022年度は、地震訓練を実施いたしました。



緊急社内連絡

緊急避難と集合

緊急避難と整列

常務指示・伝達

全員何事もなく、予定通りに終了しました。

- ② ちばSDGs/パートナーに登録されました。  
(登録番号:1136)

当社はEA21活動を通してSDGs活動を展開します。



- ①環境の側面  
SDGsゴール7,13



節水活動、節電活動、エコドライブを実施し、持続可能な社会づくりを進めます。

- ②社会の側面  
SDGsゴール 3



製品の安全性の維持向上に努めます。

- ③経済の側面  
SDGsゴール  
11、12、17



廃棄物処理において適正処理に努めます。又、EA21活動やSDGsの普及に努めます。

### 3. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

#### (1) 2023年度環境経営目標の見直し

2023/7/20

項目	単位	2022年度 (実績値)	2023年度 (当初目標値)	2023年度 (改定目標値)
電気使用量(本社)	kWh/年	7,205	7,159	7,159
電気使用量 (千葉工場)	kWh/年	1,395,220	1,314,948	1,406,994
	kWh/生産量	497.23	466.96	492.26
電気使用量 (大網分工場)	kWh/年	203,450	176,613	185,443
	kWh/生産量	72.51	62.72	71.78
電気使用量 (全社合計)	kWh/年	1,605,155	1,498,720	1,599,596
灯油使用量	L/年	23,588	20,193	20,193
	L/生産量		9.83	0.00
軽油使用量	L/年	37,428	35,504	38,110
	L/生産量	13.34	17.29	13.21
ガソリン使用量	L/年	18,641	16,654	18,981
	L/生産量	6.64	8.11	6.58
LPG使用量	L/年	691	1,082	704
	L/生産量	0.25	0.38	0.24
温室効果ガス排出量(注)	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,263,919	1,149,012	901,772
	kg-CO <sub>2</sub> /生産量	450	408	312
水使用量 (千葉・大網計)	m <sup>3</sup> /年	914	961	931
	m <sup>3</sup> /生産量	0.33	0.34	0.32
一廃排出量	kg/年	20,006	16,434	20,371
	kg/生産量	7.13	5.84	7.06
産廃排出量	t/年	150	193	153
	t/生産量	0.05	0.07	0.05
生産量	t/年	2,806	2,816	2,886
化学薬品管理	%	100%	100%	100%
グリーン購入	%	100%	100%	100%

2023年度の電力会社は、契約していた電力会社からの単価値上げの問題があり、東京電力エナジーパートナーとENEOS電気に変更しましたので、2022年度の電力排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)のR4年度調整後排出係数0.435とENEOS電気の0.48を使用します。

#### (1) 2023年度環境経営計画

No.	項目	活動内容
1	電力使用量	①屋休み・不在場所の消灯(月4回程度巡回点検)
		②エアコン適温化(夏季:28℃、冬季:20℃)
		③電気ストーブ周りの適温化(足元温度:25℃以下)
		④エア配管系のエア漏れ点検修理
2	灯油使用量	①屋休み・不在場所の消火(月4回程度巡回点検)
		②灯油ストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		③洗浄油再利用の活性化
3	ガソリン使用量	①フォークリフト省エネ運転励行(管理者注視による指導)
		②社有車の計画的運行
		③省エネ社有車の導入
4	軽油使用量	①輸送ルートの事前検討励行(運行管理者による日常指導)

7	電機使用量	②エコドライブの遵守
5	LPG使用量	①ガストーブ周りの適温化(室温:20℃以下)
		②手洗い等のお湯使用時の節約
6	二酸化炭素排出量	①節電活動
		②エコドライブの遵守
		③灯油、LPGの適正使用
7	一般廃棄物排出量	①梱包緩衝材をリユース材へ変更
		②コピーの縮減、裏紙利用促進
		③分別励行による可燃物縮減
8	産業廃棄物排出量	①金属くず・廃油・段ボールのリサイクル
		②廃棄物の分別徹底
		③廃棄物発生源対策立案と実施
		④破損パレット返却励行
9	緊急事態対応訓練	2022年度 防火・防災訓練
		2023年度 AEDの使用方法の講習会。(9月実施予定)
		2032年度 火災時の消火訓練。(12月実施予定)
10	水道水使用量	①蛇口付近に節水励行札の取り付け
		②朝礼等にて啓蒙活動
11	化学薬品の管理	①SDSの入手配備と使用時教育の実施
		②購入履歴の把握
12	調達品のグリーン購買	①注文時にグリーン用品を指定
		②納入品のグリーンマーク確認
13	SDGsへの取組み	①ちばSDGs/パートナー登録制度への応募と活動の展開

## 2023年度 環境経営目標及び環境経営計画の主要なポイント

### 【環境経営目標】

- ① 生産量は、得意先の納入量の増加もあり、2022年度実績の5%増とします。
- ② 電気使用量は本社は現状維持とし新社屋での実績把握とします。  
工場は5%の増産ですが、原単位は前年実績の1%削減とします。
- ③ 灯油、軽油、ガソリン、LPGは前年度の原単位から1%の削減とします。
- ④ 水道、一廃、産廃は2022年度原単位実績を1%削減します。
- ⑤ 化学薬品管理とグリーン購入はチェックシートにて定性評価します。

### 【環境経営計画】

- ① テーマ毎の主な活動は前年度までの内容を継続します。
- ② SDGsについての活動を展開します。

## Ⅶ 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、の並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用される主な環境法規は下記の通りです。

環境関連法規制について、遵守確認の結果、問題はありませんでした。

2023/3/31

- \* 廃棄物処理法
- \* 資源有効利用促進法
- \* 特定家庭用機器再商品化法
- \* 家電リサイクル法
- \* 自動車リサイクル法
- \* 建設リサイクル法
- \* 騒音規制法
- \* 振動規制法
- \* 千葉県生活環境保全等に関する条例
- \* 消防法
- \* 自動車NOxPM法
- \* オフロード法
- \* 道路交通法
- \* 労働安全衛生法
- \* フロン排出抑制法
- \* 浄化槽法
- \* 水質汚濁防止法

2022年3月31日に環境関連法規等取りまとめ表に基づき違法性を評価しましたが問題はありませんでした。また、過去3年間行政からの指摘や指導もありませんでした。

## Ⅷ 代表者による全体評価と見直し・指示

2023/4/15

2023年4月15日に2022年度の環境経営活動について代表者による全体評価と見直し・指示を行いました。その結果は以下のとおりです。

2022年度は、昨年同様に、受注増の傾向もあり、生産量も増加になりました。

その結果、電気の使用量については、大網かの機械の移動などがあり、千葉工場は目標を上回り未達成となりましたが、大網分工場は、千葉工場への機械移動もあり使用量の減少が見られた。

又、軽油の使用量については目標を達成しましたが、ガソリンは僅か乍ら未達成でした。

一方、廃棄物は工場内レイアウト変更で大網分工場から9台の機械を移設したこともあり、

一般廃棄物が多量に発生し未達成となりました。産廃は目標を達成しました。

以上よりEA21活動を通じて、節電・エコドライブ・節水活動が浸透していることを確認しました。

尚、2023年度は2021年度実績から3ヶ年計画の環境経営目標の当初計画を一部見直しして取り組みます。

① 環境経営方針	変更無し
② 環境経営目標及び環境経営計画	2023年度は2021年度に策定した新3ヶ年計画の環境経営目標を2021年度実績から一部改訂して取り組む。
③ 実施体制	組織を含めて変更なし